

発言No. 9

受付No. 4

平成 26 年 8 月 25 日
14 時 3 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 12 番

氏名 岡本正友

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 「浜田を元気にする」地域活動の支援策について

(1) 中心市街地を一望できる高尾山頂（港町）の『平和の鐘』周辺の環境保全について

①高尾山の山頂から、日本海をはじめ浜田城址周辺や市街地が一望できる。頂きからみえる四季折々にみせるパノラマ空間の眺望は素晴らしく、市民の憩いの場であった。

頂上の北側には、不戦の誓いとして戦没者遺族会が建立した梵鐘タイプの『平和の鐘』の鐘撞き堂があり、山頂に登った人に撞かれるその鐘の音色の強さ弱さから、撞き手の深い祈りと偲ぶ想いを感じたものである。

近年では、終戦記念日に数人の遺族の人がつく以外に、この鐘を撞く人も訪れる人も少なく寂れている。その高尾山頂の周辺環境は、どのようになっているのか現状を伺う。

②浜田城開府 400 年を前に、その関連の歴史と文化施設を一望できる高尾山の山頂周辺の整備を希望する地域住民の声をきくが、その考えについて伺う。

(2) イノシシ被害対策として猟師の育成を目指す狩人塾「陽気な狩人」について

① 増加するイノシシ被害は、中山間地域の大きな問題である。そして近年高齢化によって駆除をする猟師の減少もすすむ状況は、新たな課題となっている。

弥栄町にある「陽気な狩人」の代表者は、本年 3 月から狩人塾を開講し、集まった 9 名の塾生に「命と食育」を大きなテーマとしてあげながら指導し、この半年間に 6 名の狩猟免許所得者を輩出したときいている。その活動は、課題解決のみならず、新た

な食育と産業の創出への可能性を感じている。イノシシ対策はどのようになっているのか現状と課題、狩人塾の評価と支援について伺う。

②狩猟時期の捕獲頭数と有害捕獲頭数の自家消費と廃棄処分頭数について伺う。

2・地域を活性化させるための方策について

(1)共同管理している有福温泉の活性化を目指す取組について

- ① 有福温泉の3浴場を両市で共同管理しているが、昨年暮れの原爆センターの閉館による分湯料の減収や、利用者の減少そして昨年の水害等の原因などによる状況から、大幅な減収を予想する。どのようになっているのか現状とその対策について伺う。
- ② 公衆浴場法施行条例により便所の設置など2ヶ年の1,100万円相当の予算を計上する改造計画がある。今後の有福温泉の中長期的な集客を目指す計画について伺う。

(2)空き家調査から目指す地域の安全安心と活性化への取組について

- ①本年度業務委託で、空き家調査が行われている。この調査からデータベース化した空き家情報の所在の把握による活用として、U・Iターン者の住まいの確保の有効利用と、緊急輸送道路や通学路の災害予防と対策、そして建物危険度判定をして指導等の早期対応をする事ができるとしているが、報告書及び計画書作成のスケジュールと、計画書を有効に利用することができる範囲についてその考えを伺う。
- ②空き家の危険度判定の周知と管理方法について所有者への報告と、指導等のマニュアルの作成とその対応と対策について伺う。